

岐阜信金、純利益34%増

3月期 資金利益の伸長寄与

岐阜信用金庫（岐阜市神田町）が16日発表した2021年3月期単体決算は、資金利益、役務取引等利益の伸長や経費削減が寄与し、純利益が前期比34・8%増の36億円と大幅に伸び、2期ぶりの増益となった。

本業の収益力を示す実質業務純益は、14・0%増の55億300万円で2期連続の増益。貸出金の増加により資金利益が2億1900万円増、金融商品や相談業務の手数料収入が好調で役務取引等利益が2億9400万円増となったほか、業務の効率化、集中化を進めて人件費や物件費といった経費を4億2600万円削減した。

好岡氏が副理事長昇格 役員人事

岐阜信用金庫は16日、通常総代会と理事会を開き、好岡政宏専務理事が2016年6月から空席となっていた副理事長に昇格する同日付の役員人事を発表した。伴走型支援、課題解決型営業を推進するため理事を2人増の14人体制とし、経営管理を強化する。

浅野一成常務理事が専務理事、桂川慎一理事が市場国際部長が常務理事市場国際部長、光崎修理事本店営業部長が常務理事営業戦略部長、石神靖也理事経営企画部長が常務理事経営企画部長、執行義徳理事人事部長が常務理事人事部長に昇任。吉田肇大開発戦略部副部長が理事本店営業部長、大橋一範融資部副部長が理事監査部長、西村雅史人事部長が理事開発戦略部長

県内金融機関2021年3月期決算					
経常収益		経常損益		純損益	
岐阜信用金庫					
(単)	28,572 (▲0.7)	4,792 (21.7)	3,600 (34.8)		
(予)	—	—	—		

【注】単位は百万円、%。(単)は単体、(予)は2022年3月期予想。かつこ内は前期比増減率、▲はマイナス。

期末貸出金残高は個人向け融資は減少したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で企業向けの融資が大幅に増え、6・5%増の1兆3785億円。期末預金残高は個人、法人ともに増加し、6・9%増の2兆4837億円で過去最高となった。

財務の健全性を示す自己資本比率は0・55%上昇の9・96%で、国内基準の4%を上回った。不良債権比率は0・22%低下の2・78%となった。

22年3月期予想は、新型コロナウイルスの影響で先行きが見通せないとして公表しなかった。

岐阜信用金庫人事（16日）地名のみは支店長、地名の後の役職は支店内の役職

事務統括部長（事務統括部次長）吉田

石神 靖也氏（いしがみ・やすなり）関西大学法学部卒。87年入庫。経営企画部次長、同部長などを経て19年から理事。58歳。

執行 義徳氏（ぎよう・よしのり）明治学院大経済学部卒。87年入庫。業務推進部推進役、人事部長などを経て19年から理事。56歳。

吉田 肇夫氏（よしだ・としお）立命館大経済学部卒。88年入庫。業務推進部推進役、営業戦略部推進役などを経て21年1月から開発戦略部副部長。57歳。

大橋 一範氏（おほし・かずのり）愛知大経済学部卒。88年入庫。業務推進部推進役、融資部次長などを経て21年1月から同部副部長。55歳。

西村 雅史氏（にしむら・まさし）南山大外国語学部卒。90年入庫。稲葉地支店長、秘書室秘書役などを経て20年から人事部長。54歳。

河合 潔氏（かわい・きよし）関西医科大学岐阜大大学院内科学第一講座卒。河合内科クリニック院長。68歳。

光崎 修氏（みつさき・おさむ）京都産業大経営学部卒。86年入庫。業務推進部副部長、本店営業部長などを経て18年から理事。58歳。

桂川 慎一氏（かづらがわ・しんいち）愛知大経済学部卒。85年入庫。審査部長、融資部長などを経て17年から理事。58歳。

浅野 一成氏（あさの・かずしげ）立命館大経済学部卒。82年入庫。企業支援部長、理事などを経て18年から常務理事。63歳。

好岡 政宏氏（よしか・まさひろ）名古屋市中大経済学部卒。82年入庫。人事部長、理事、常務理事などを経て20年から専務理事。63歳。

河合内科クリニック院長の河合潔氏が就任した。

山口貴生専務理事、奥村順一理事営業戦略部長は退任した。